



チームの枠を超えて挑む

1月7日(土)から9日(月)に、千葉県南房総市の富山・岩井運動場他で開催される「第6回CBS少年軟式野球 6年生選抜大会 全国大会」に、東北大会を勝ち抜いた栗原選抜チームが出場します。

大会は、町おこしの一環で開催され、少子化による多学年が混在した既存チームを離れ、地域チーム間で選手交流が行われることで、子どもたちの視野を広め、自立心や責任感を育むことを目的としています。全国大会を前に、子どもたちは互いのプレーに刺激を得ながら練習に励んでいます。



夢の舞台へいざ挑戦

1月4日(水)から8日(日)に、東京都の武蔵野の森総合スポーツプラザで開催される「Jr. ウィンターカップ2022-23 第3回全国U15バスケットボール選手権大会」に、築館中学校3年の佐藤蒼児さん(築館西町)が出場します。

佐藤さんは、全国で活躍する選手を多数輩出している岩手県のクラブチーム、東北ユナイテッドボーラーズに所属。岩手県予選で見事優勝し、バスケットボール選手あこがれの舞台、Jr. ウィンターカップ出場の切符を手に入れました。



芸術の秋を堪能

11月19日(土)から22日(火)の4日間、高清水総合支所ホールで「高清水生涯学習まつり」が開催されました。

会場には、地域で活動する団体や個人が制作した絵画や写真、押し花などの他、小中学生の作文や書道、幼稚園児のクラフト作品が所狭しと並びました。

例年より増えた作品に「手間暇かけているね」、「どれもすてきだね」と言いながら、来場者はゆっくりと作品を鑑賞していました。



にじむ汗 吹く風心地よく

11月13日(日)、朝霧の中、若柳中学校前を発着点として「第8回栗原ハーフマラソン大会」を開催しました。

アップダウンが少ないハーフマラソンコースは走りやすく、好記録が期待できることや、日本陸上競技連盟公認ということもあり、全国から約1,000人の参加がありました。

自己ベストを目指すランナーたちは、うっすら雪化粧した栗駒山からの心地よい風を受け、晚秋の伊豆沼を駆け抜けました。



活動の成果を披露

12月4日(日)、一迫ふれあいホールを会場に、市内で活動する9つの文化団体が参加した「栗原地方青年文化祭2022」が開催されました。

催しは、太鼓や神楽、朗読劇などのステージ発表の他、書道や写真、LGBTQ(性的少数者)当事者のメッセージなどが展示発表され、訪れた人の関心を寄せていました。

また、来場者がその場で体験できる書道やネイラーでは、団体関係者と会話をしながら、それぞれに挑戦して、楽しむ姿も見られました。



[左から]川上理事長兼学長、佐藤市長
活力ある地域づくりを目指して

11月21日(月)、市は、宮城大学とまちづくりや人材育成などの分野で協力する、包括連携協定を締結しました。

この協定は、市の観光資源や地域資源を活用した新たな観光内容の検討や、学術研究のための連携などにより、活力ある地域づくりに取り組むために締結したものです。

宮城大学の川上理事長兼学長は「学生が地域で学びながら、成果を地元の自治体に返していく実践的な教育を進めていきたい」と述べられました。

全国大会入賞おめでとうございます

第60回全国防具付空手道選手権大会



団体戦 小学生男子 優勝 黒土豪 たけし さん(高清水10区)

中学生男子 準優勝 黒澤 淳太 くろさわ じゅんた さん(高清水10区)
※個人戦中学生男子3位

一般男子 優勝 菅原 健人 すがわら けんじ さん(栗駒大島中)

菅原 理史 すがわら りし さん(高清水8区)
佐々木 瑞音 ささき りょう さん(高清水1区)
※個人戦一般男子3位

個人戦 小学2年女子 3位 藤原 蓮 ふじわら れん さん(築館本木)

3位 藤原 麗 ふじわら れい さん(築館本木)
小学2年男子 準優勝 黒澤 凉太 くろさわ りょうた さん(高清水10区)

中学生女子 準優勝 笹原 由衣 ささはら ゆい さん(高清水8区)
一般女子 準優勝 及川 祭 おいかわ まつり さん(志波姫宮中)

※写真は、市長表敬に参加した皆さんです。



中学生女子個人
優勝
久保 琳音 くぼ りおん さん
(若柳上町)

第22回全国障害者スポーツ大会



フライングディスク
優勝
三浦 正視 みうら まさみ さん
(築館佐野)